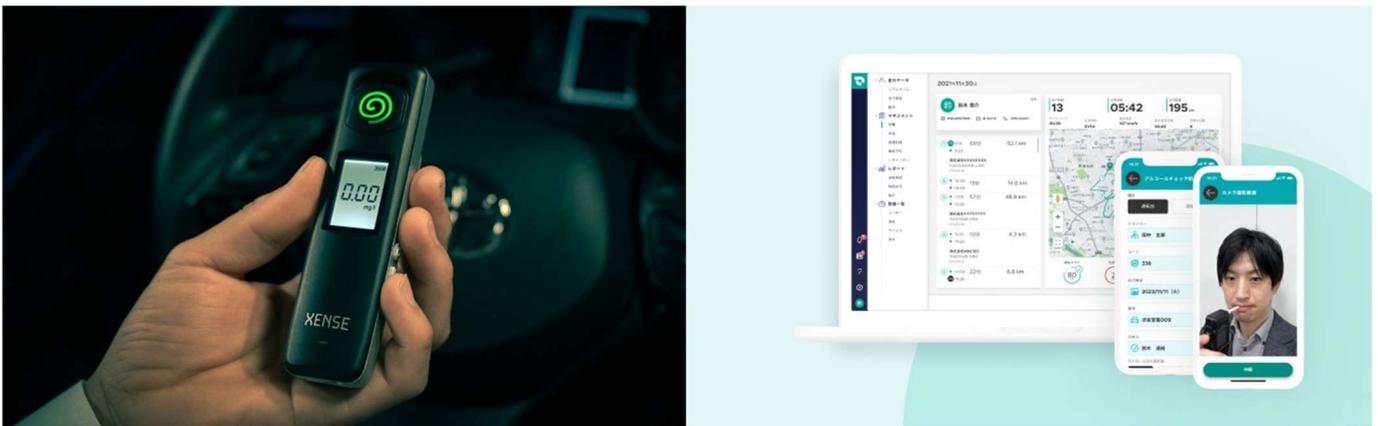


【12/1 アルコールチェッカー使用義務化に向けて】
「SmartDrive Fleet Basic」と専用アルコールチェッカーが機能連携
業界最安値水準で、アルコールチェックと車両管理のクラウド一元化が可能に
～ 「SmartDrive Fleet」においても、エビデンス機能の強化を予定 ～

モビリティデータを活用したサービスを提供する株式会社スマートドライブ（本社所在地：東京都千代田区、代表取締役：北川烈、以下「当社」）は、アルコールチェック義務化に対応したクラウド型車両管理システム「SmartDrive Fleet Basic」と専用アルコールチェッカー（『XENSE 82BT』、製造：SEIKOIST 株式会社）を連携させ、業界最安値水準でアルコールチェックの測定・記録と車両管理業務をクラウド上で一元化できるサービスの提供を開始しますのでお知らせします。

なお、上記のサービスに加え、2023年12月からのアルコールチェッカー使用義務化を契機として、「SmartDrive Fleet」も含めた様々な機能強化を予定しており、車両管理に関連する業務負担を軽減するサービスをご提供予定です。

**XENSE****×** **SmartDrive Fleet** **SmartDrive Fleet Basic**

アルコールチェックの記録と車両関連業務をクラウド上で一元管理するメリットは、乗車前後のアルコールチェック計測結果が専用モバイルアプリにBluetoothによって自動転送され、管理画面上で各車両の状況と合わせて確認することが可能になったことにあります。各ドライバーは毎回計測結果を手動入力する手間が無く、管理者はアルコールチェックの実施の有無について抜け漏れなく把握できます。

特に、アルコールチェック義務化に対応し、『低価格で簡単』に始められ、『ペーパーレス』で業務を管理でき、しっかりと『法令遵守』を推進できる「SmartDrive Fleet Basic」と、専用アルコールチェッカーの組み合わせは、業界最安値水準でのサービス提供となるため、多くのお客様にご検討いただけると想定しています。

アルコールチェッカー使用義務化が迫るなか、様々な対応が求められる事業者様の方々には、お客様の状況に応じてご提案させていただきますので、以下の URL よりご連絡をいただけますと幸いです。

アルコールチェック運用相談窓口 : <https://bit.ly/3Q5jHFw>

さらに、2022年4月より義務化された業務用白ナンバー車両でのアルコールチェック義務化がこの12月から本格化することを受け、以下の機能アップデートも順次行う予定です。専門のスタートアップならではのスピード感で機能強化を行うことで、車両管理責任者・ドライバーの皆さんのご負担の削減につながると考えています。

【機能アップデート予定】

- アルコールチェックを実施せずに運転した場合や酒気帯び検知時の管理者への通知機能
- アルコールチェック結果の運転日報への自動反映

2013年の創業以来「移動の進化を後押しする」をビジョンに掲げサービスの開発・提供してきた当社は、今後も、お客様のニーズやご要望にお応えるサービスの開発・提供に取り組んでまいります。

以上

■会社概要 株式会社スマートドライブ

会社名 : 株式会社スマートドライブ (東京証券取引所グロース市場:証券コード 5137)
設立 : 2013年10月
代表取締役 : 北川 烈
所在地 : 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-1-2 日比谷三井タワー12階
URL : <https://smartdrive.co.jp/>

-本件に関する報道お問い合わせ窓口-

株式会社スマートドライブ マーケティングチーム 広報担当

Email:pr@smartdrive.co.jp TEL:070-3250-4163 (佐藤)